

---

# AMBERテント型サウナtotonoi2商品説明書

## 薪ストーブ取扱説明書

---

この度はAMBER製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をお読みの上、正しくご利用ください。



### 目次

1. 安全上のご注意	…… 1
2. テント仕様	…… 4
3. テント設置方法及び使用方法	…… 4
4. 薪ストーブの取扱い	…… 6
5. 撤収方法	…… 9
6. メンテナンス	……10



## 1.安全上のご注意(安全のために必ずお守りください)

# WARNING

- ・アウトドアサウナは火気を扱う為、誤った使い方は大変危険です。
- ・必ず一酸化炭素チェッカーを用いて確認をしてください。
- ・石油ストーブ、ファンヒーターなどの排気のできないストーブは使用できません。
- ・低品質の薪ストーブは気密性が低く、一酸化炭素漏れの原因となりますのでご注意ください。
- ・湿気た薪を使用しないでください。  
不完全燃焼になり、煙が逆流する恐れがあります。
- ・いかなる場所においても、マナーを守ってサウナをお楽しみください。
- ・アウトドアサウナでの事故は自己責任です。  
事故の際、弊社では一切の責任を負うことができません。

■この説明書では製品を安全に正しく取り付け、正しくご使用していただき、あなたや他の人々へのけがや財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または大けがを負う、または火災の危険が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または大けがを負う、または火災の危険につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、人がけがを負う可能性や、周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。



禁止事項

製品の取扱いにおいて、その行為を禁止するマーク



必須事項

製品の取扱いにおいて、必ず守っていただきたいことに対するマーク

# 1.安全上のご注意(安全のために必ずお守りください)

## ⚠ 危険



### ⊘ 就寝時使用禁止

薪ストーブをテント内で就寝時に使用することはおやめください。



### ⚠ 常時吸気必須

テント下部の吸気口から常に新鮮な外気が取り込まれていることを確認して下さい。



### ⊘ 薪ストーブ扉解放厳禁

本書で指示のある時以外は、薪ストーブの扉を開けたままにしないでください。また、破損等により扉が閉まらない場合は直ちに使用を中止してください。テント内に一酸化炭素を含む煙や、火の粉が漏出し危険です。



### ⊘ 煙突の外れ危険

煙突が外れたまま使用しないでください。一酸化炭素を含む煙がテント内に漏れて危険です。ご使用前に必ず煙突がしっかりと接続されていることをご確認ください。

## ⚠ 警告

### ⊘ 可燃物接近禁止

燃えやすいものを近くに置かないでください。スプレー缶やカセットコンロ用ボンベ等を近くに置かないでください。



### ⊘ 薪以外の燃料厳禁

爆発する恐れのあるものや、有毒性ガスが発生するものは絶対に燃やさないでください。



### ⚠ 高温注意

使用中や、使用後はしばらくは薪ストーブや煙突が大変熱くなりますので、必ず燃えにくく断熱効果のある手袋を着用してください。



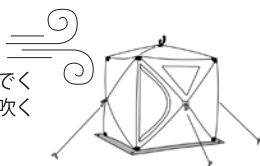
### ⊘ 不安定な場所での使用禁止

水平で強固な場所に設置してください。下には可燃物を敷かないでください。



### ⊘ 強風時使用禁止

風速 6 m以上の時は使用しないでください。1.5倍～2倍の瞬間風速が吹く可能性があります。



### ⚠ ペグダウン必須

テントサウナを使用する際はテントを必ずペグダウンして、地面に固定してください。



### ⊘ 禁止事項

薪ストーブの扉を開けたまま使用しないでください。破損等により扉が閉まらない場合は、直ちに使用を中止してください。テント内に一酸化炭素を含む煙や、火の粉が流出する恐れがあり大変危険です。

薪ストーブの分解や改造は絶対にしないでください。

### ⚠ 必須事項

煙突の1本1本それぞれがしっかりと繋がり、薪ストーブとも確実に接続されていることを確かめてからご使用ください。外れたり緩んだりしたまま使用すると、一酸化炭素を含む煙がテント内に漏れるなど事故の原因となり大変危険です。ご使用前に必ず煙突がしっかりと接続されていることをご確認ください。

使用中は吸気口が塞がれていないか必ずご確認ください。降雪地域では雪でふさがれないようセッティング時にご確認ください。また、ホコリやゴミなどで塞がれないように注意し、常にテントの中へ新鮮な空気を取り込んでください。換気せずに使用すると一酸化炭素中毒の危険や、燃焼不良の恐れがあります。

# 1.安全上のご注意(安全のために必ずお守りください)

## 危険

本製品に破損や劣化が確認された場合はご使用をおやめください。

テントの中で火のついたままの薪や熾きを、薪ストーブから取り出さないでください。火災、火傷、一酸化炭素中毒の原因になります。

よく乾燥した薪以外のものを薪ストーブで燃やさないでください。紙類など火の粉が飛散する燃料を燃やさないでください。煙突から火の粉が飛び散り、火災やテントの屋根等が損傷する原因になる可能性があります。



薪ストーブの燃料に石炭・練炭・豆炭等の薪以外の燃料は使用しないでください。一酸化炭素中毒の危険性がある他、製品の損傷、火災につながる恐れがあります。

ガソリン、プロパンガスなどの可燃性のある液体や気体、及び乾電池やバッテリーをテント内に持ち込まないでください。火災や器具が破損する原因になります。

テント内で衣類等を乾燥させるのはお控えください。燃焼物を放置すると、火災の原因になります。

風速6mを超えるような強風時には、絶対に使用しないでください。

## 注意

定員以上の込み合った状態では使用しないでください。人がテント内で転倒すると薪ストーブやストーン、煙突に体が触れ、火傷の恐れがあります。

使用中、保護者不在のままでお子様やペットをテント周りで遊ばせない様にご注意ください。ロープに引っかかり、ケガやテントが倒壊する恐れがあります。

お子様だけでのご使用はおやめください。お子様がご使用になる場合は、常に大人の同伴が必要です。また、ご使用中にお子様を外で待つ際に、保護者不在になることもおやめください。

テントサウナでご使用前に必ず付属品や使い方の手順をご確認し、薪ストーブの試運転を行ってください。



お出かけの前に気象状況を十分に把握しておき、悪天候が予想される場合や、使用中に風や雨(雪)が強くなってきたらご使用を中止してください。

本製品には鋭利な箇所がありますので、必ず手袋を着用してお取り扱いください。また、薪ストーブやサウナストーンを取り扱う際は耐熱手袋を着用してください。

薪ストーブから取り除いた炭や灰の不始末は、火災の危険があります。再び燃え出さないよう適切に処分してください。

本書で使用が制限されている方のほか、使用中に気分が悪くなったら直ちに使用を中止してください。

法令や地域の条例等により、たき火が禁止もしくは制限されている場所がありますので注意してください。また、火災に関する警報が発令された場合は、本製品を使用しないでください。

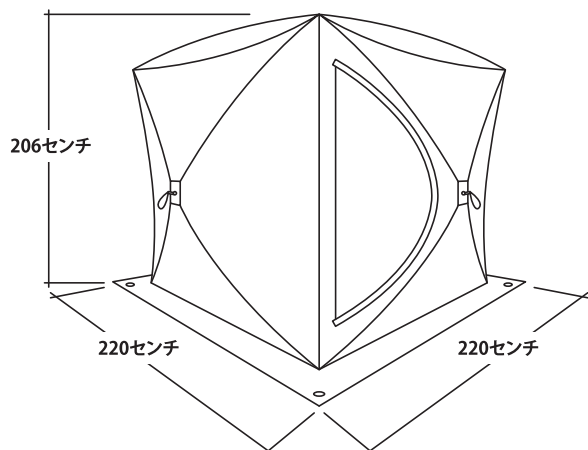
万が一に備えて、使用中はその場を離れず、水を張ったバケツなど、消化準備をしてからご使用ください。

薪ストーブはサウナ専用のサウナストーンをご使用ください。河原などに落ちている石などは爆ぜたりして大変危険なため絶対に使用しないでください。

芝生やFRP等、高温に弱い場所で薪ストーブを使用される場合には、薪ストーブの下に耐熱性のあるレンガやブロック等を敷いてご使用ください。

## 2. テント仕様

### 本体サイズ



### スペック

定員 4名

本体重量 約17kg

材質 生地:ポリエステル100%(難燃・防水加工)  
シリカゲルクロス(テント内の一部に使用)  
煙突穴に金属リング付属(鉄製)  
骨組:グラスファイバー  
留金:スチール(鉄)

床面積 約3.2㎡

収納時サイズ 約130cm×30cm×30cm

## 3. テント設置方法及び使用方法



① 収納袋から取り出したテントを金具が集まっている部分を下にして立てて広げていきます。



② テントの一面を地面に広げていきます(煙突ポートが付いている天井面を上にするのがオススメです)



③ 煙突ポートを開いて紐で留めます(金具を引っ張る際の空気抵抗を減らす為です)



④ テント生地中心に付いている金具を引っ張ります(引っ張りやすい面から大丈夫です)

### 3. テント設置方法及び使用方法



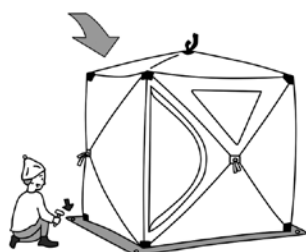
⑤中心の金具から遠い位置を押さえながら引っ張ると立ち上がりやすいです。



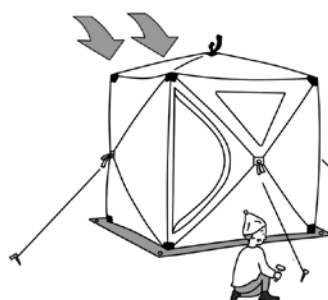
⑥テントの中に入り煙突用パッチを取付け、テントのカタチを整えたら完成です。風に備えてペグダウンしましょう。

## 風がある時はペグダウンしてご使用ください。

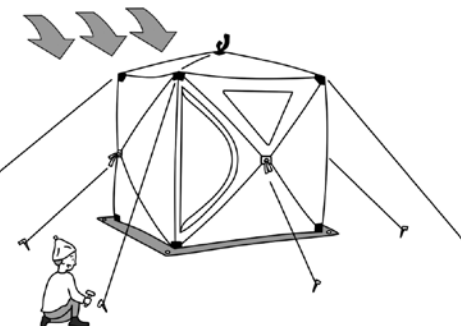
微風(風速1m以下)  
足元の四つ角ペグダウン



弱風(風速1m~4m)  
足元+留金4箇所ペグダウン



中風(風速4m~6m)  
足元+留金+テント上部四つ角ペグダウン



※風速7mを超える強風時には、危険な為テントサウナを使用しないでください。その他風の弱い日でも突風にはご注意下さい、風速1mを超える日には、突風に備え留金4箇所のペグダウンをしてご使用下さい。

公式サイトにて  
テント設営動画を公開中です。



## 4. 薪ストーブの取扱い

# WARNING

テント内で薪ストーブを扱う事は、一酸化炭素中毒、火傷、火事などの危険を伴います。どの薪ストーブメーカーも、テント内で薪ストーブを使用した事を原因とする事故に対する損害賠償の責任は負わないものと宣言しています。事故を起こさない為に、注意事項を厳守の上、安全にお楽しみください。

※命を守る為に一酸化炭素チェッカーは必ず使用してください。

一酸化炭素は無色無臭です、気付かぬうちにテント内に充満している可能性があります。  
チェッカーの不具合も考えて、できれば2つ以上設置する事を強く推奨致します。

### ・薪ストーブのセッティングについて

- ① 初めて薪ストーブを使用される際には、塗装の焼き付けが起こり、薪ストーブ本体から煙と塗装の焼ける臭いが発生します。  
テント内で使用する前に、野外で30分～1時間程度、本体から煙が出なくなるまで試し焚きを行ってください。  
本体から煙が出なくなれば完了です。
- ② 薪ストーブの天板に直接サウナストーンを乗せないでください。  
ロウリュウの際に急激な温度変化で天板がポコポコに変形します。  
天板は変形すると一酸化炭素漏れの原因となります。  
必ず、鉄板や金属製のバットや鍋等を天板に敷いた上にサウナストーンを乗せてご使用ください。  
(天板の厚みが十分にある薪ストーブの場合この限りではありません)



- ③ 輻射熱が強い薪ストーブを使用する場合には、脛が熱くなってしまう事があります。その様な場合、薪ストーブと人間の間に遮熱版を設置すると改善されます。  
薪ストーブに専用の遮熱版が無い場合には、ウィンドスクリーンやブロック等で遮熱する事ができます。



← 公式サイトで専用の遮熱版を販売しています。

この方法は単純ですが効果が高く、快適なサ室を作る事ができます。

薪ストーブのセッティングや使い方については  
公式サイトのブログにも掲載しています。  
よろしければ右記QRよりご確認ください。



## 4. 薪ストーブの取扱い

### ・薪ストーブの使い方

薪ストーブは、いきなり太い薪に着火しようとしたり、ストーブの中に薪を多く、入れすぎたりしてしまうと薪が上手く燃えず、不完全燃焼となって煙の逆流・一酸化炭素漏れを起こしてしまいます。薪が湿っていると更にリスクが高まります。

焚き初めは少量の燃えやすい木っ端でスムーズに着火し、まず炎をしっかり大きく育て、それから少しずつ太い薪を追加するようにすると不完全燃焼の時間を最小限に抑えられます。

焚き初めや薪の追加時はどうしても不完全燃焼になりますので、最初はテントの出入口は全開にし、換気しながらご使用ください。

煙突にドラフト（吸引力）が働き、燃焼が安定してくれば煙は自然と煙突に吸われるようになります。それまでは換気に気をつけていただければと思います。

### 【換気】

- ①着火時はテントの出入口は全開にしておきます。
- ②薪ストーブ本体の吸気口も全開にしておきます。
- ③テントの通気口も開いておきます。

### 【着火】

- ①ストーブの中に広葉樹の太い薪を2～3本置く。
- ②その上にスギなどの燃えやすい針葉樹の木っ端を多めに置く。
- ③更にその上に固形の着火剤を置いて着火する。

このようにしていただくと、最初は煙突から煙は多めに出ますが、ほぼ失敗せずに太薪までしっかり燃焼させることができます。



←ここまでいけば太薪まで着火し、しっかりと燃焼させる事が出来ます。  
しっかりと太薪まで着火した事を確認してからテントの出入口を閉めてください。テントの換気口と、薪ストーブ本体の吸気口も使用時は常に開いておいてください。



## 4. 薪ストーブの取扱い

### 【吸気口】

薪ストーブ本体の下部についている吸気口は、開けた状態でご使用ください。

この吸気口の開け具合でも火力と温度を調整する事が可能です。

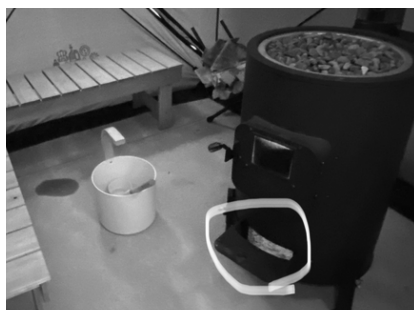
①サ室の温度を上げたい時→全開

②サ室の温度を落ち着かせたい時→半開

※完全に閉めてしまうと不完全燃焼になる恐れがあります。少なくとも少しは開けた状態でご使用ください。

A-41の場合は吸気口が小さいので、常に全開で問題ありません。

※外気から吸気するタイプの薪ストーブ(新保製作所別注薪ストーブ)の場合は、薪ストーブ前面の吸気口は、着火時と火力UPしたい際にのみ開きます。



↑ SKS-410



↑ A-41

### 【吸気口】

吸気口から吸気して、燃焼し煙突から排気となります。

空気の通り道を常にしっかりと確保する事が、完全燃焼を保つコツです。

薪をパンパンに詰めすぎたり、薪で空気の流れを全部止めてしまうような、隙間のない薪のくべ方をしないように意識してみてください。

完全燃焼している際には、ドラフトが働き吸気口等から一酸化炭素が漏れる事はほとんどありません。一酸化炭素チェッカーを吸気口の近くに近づけて確認してみてください。安全の確認にもなります。

完全燃焼している時は、煙突からの煙は透明になり、ほぼ無煙の状態になります。その状態が保てているとコンディションが良い証拠です。

逆にいつまでたっても白い煙や黒い煙が大量に出ている場合には、不完全燃焼の状態の可能性がありますのでご注意ください。

※一酸化炭素チェッカーのアラームが鳴った際は、直ぐにテントの出入口を全開にして換気を十分に行い、アラームが鳴りやむまでテントの外へ避難してください。アラームがやんでから、薪ストーブの状態を確認してください。

湿った薪を使用していないか、薪を入れ過ぎて通気が滞っていないか等確認いただき、一酸化炭素チェッカーで安全を確認してからテントサウナを再開してください。

※薪ストーブの吸気口ではなく、薪を投入する扉を開いたままテントサウナを使用するのは非常に危険な行為ですので、絶対に薪投入の扉を開けたままテントサウナを使用しないでください。

一酸化炭素は無色無臭です。扉を開けたまま火を焚いていると、必ず一酸化炭素が漏れだし、非常に危険です。

室内での薪ストーブの使用は、使い方を間違えると非常に危険ですので、十分過ぎるほど注意してご使用ください。

テント内は非常に高温になります。

一酸化炭素チェッカーが高温でダウンしないように、テントの足元付近、出来るだけ薪ストーブから遠い位置に設置してください。

## 5. 撤収方法

- ① サウナストーンを取り除きます。サウナストーンは冷めるのに時間がかかる為、金属製のバケツ等に入れて水に漬けて冷やすのがおすすめです。
- ② 燃え残りの薪を火ばさみ等を使って薪ストーブから出し、火消壺に入れて鎮火するか、金属製のバケツ等に入れて水をかけて消火してください。薪ストーブは熱された状態の為、耐火手袋等装着し火傷に気を付けて作業されてください。
- ③ 薪ストーブの中に火種の無い状態になると15分前後で薪ストーブ本体の温度が安全な温度まで下がってきます。十分に薪ストーブが冷めてから、煙突を取り外し薪ストーブを撤収してください。
- ④ 薪ストーブをテントの外に出し、テント内に熱源の無い状態になってからテントを設営した時と逆の手順で撤収してください。

※テント撤収の際に骨組み同士が絡まったり、引っかかっているような違和感を感じた際には、無理やり折りたたもうとせずに、もう一度やり直してください。設営時や、撤収時にテントの骨組みが絡まったりしている状態で無理やり引っ張ったり畳もうとすると骨組みが折れる恐れがあります。このような場合は保証の対象にはなりませんのでご注意ください。慣れるととても簡単に設営撤収が出来るようになります、慣れるまでは慎重にお取り扱いください。

**今後テント撤収動画等も公式サイトに掲載していきますので、よろしければ右記のQRコードから公式サイトをご覧ください。**



## 6. メンテナンス

- ① テントが濡れている場合にはしっかりと乾かしてから収納してください、汚れが付着している場合には濡れタオル等でふき取ってください。  
雨の日等に濡れたままテントを撤収した場合には、晴れた日にテントを広げて乾かしてください。  
消臭スプレー等で消臭していただいても問題ございません。
- ② 薪ストーブは濡れた状態で放置しないようにしてください。しっかりと乾かしてから保管してください。  
鉄製の薪ストーブは錆びが生じやすいので、雨風にさらされない場所に保管してください。  
ステンレス製の薪ストーブは錆びにくいですが、それでも雨風にさらされると錆びますので、さらされない場所に保管してください。  
薪ストーブの中の灰に関しましては、少しは残しておいた方が、次回使用時にクッションとなり、薪ストーブ本体への熱によるダメージを軽減します。  
薪ストーブのメンテナンス時には、煙突や薪ストーブ本体に亀裂や穴がないかチェックしてご使用ください。  
亀裂や穴が発見された場合はご使用をおやめください。



T-WORKS<sub>co.,ltd</sub>

**T-WORKS 株式会社**

山口県宇部市亀浦3丁目5-2

TEL:0836-39-6965 WEB:<https://t-works.jp>

**E-mail:info@t-works.jp**

本製品の仕様は、改良のため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

2022年10月 Ver1.0